



平成 21 年度総会資料



と き 平成 21 年 6 月 9 日 13 時

ところ 湯の山温泉 寿亭 (三重郡菟野町菟野)

三重の畜産女性の会 サン・カラット

平成 20 年度事業報告

平成 20 年度は、「平成の畜産危機」と言われるほど、畜産業にとって厳しい経済状況に陥りました。

飼料価格は、今年に入ってようやく下落傾向もみられましたが、まだまだ安心して経営を続けられるような状況でもありません。統計数値をみると全国の酪農家数は 3.9% 減少し（平成 19 年～20 年）、肉用牛農家数も 2.3% 減少（同）というように廃業の傾向が続いています。三重県の畜産農家の減少率は、さらにその上をいっています。

家畜に関係する疾病の発生では、相変わらず風評被害が出てしまうのが現実です。記憶に新しいところでは、近県で発生したウズラの鳥インフルエンザ問題や、当初「豚インフルエンザ」と呼ばれた「新型インフルエンザ」なども報道機関では大きな事件として取り上げられています。

このような状況に置かれた畜産を国策として守ってもらえるように期待しながら、守る価値のある畜産であるために、個々の経営でも頑張っている私たちです。

「女性の立場で畜産を支えている」というには、まだまだ力不足な面もあるかと思いますが、苦しい時にはお互いを助け合いながら、楽しい時には共に喜びあえるような三重の畜産女性の会サン・カラットとして、この 1 年の活動を展開してきました。

1 総会

- ・とき：平成 20 年 6 月 23 日（月）
- ・ところ：松阪市伊勢寺町（ウエストパーク松阪研修室）
- ・出席者数：総数 37 名（うち会員 19 名）
- ・協議内容：平成 19 年度事業実績の報告、平成 20 年度事業計画の提案

代表世話人からは「毎月の飼料費がどんどん膨らんでいくのを実感している。今までも窮地を乗り越えた結果が現在につながっている。今後もサン・カラットの仲間同志で元気を出し合いこの時期を乗り越えましょう。」という挨拶がありました。



来賓として出席いただいた三重県農水商工部農畜産室伊藤副室長、JA 三重中央会地域対策部葛西部長からご祝辞をいただきました。



2 研修会の開催等

1) 研修会と茶話会の開催

- ・とき：(総会終了後)
- ・ところ：(総会会場と同じ)

総会に引き続き、研修会と茶話会を開催しました。

講師に松阪市立天白小学校草分京子先生をお招きし、「松阪牛から学んだこと」と題した講演をいただきました。講演では平成19年度に(社)中央畜産会が企画作成した「みんなで考えよう！大切な命と食べ物」(DVD)の鑑賞をしたり、授業を受けた生徒たちの「食」への対応が変化していくようすや、生徒たちの作文の紹介もありました。



基調講演をいただいた内容をもとに、茶話会では先生を囲んで「食」や「農場見学」について意見交換をしました。



2) 漁協・酪農・畜産・JA女性部交流会への参加

- ・とき：平成20年7月29日(火)
- ・ところ：松阪市高町(華王殿)
- ・出席者数：総数167名(うちサン・カラット会員12名)

この交流会へサン・カラットとして初参加しました。

地産地消(郷土食、伝統食の取組)をテーマに参画団体の代表から事例の報告がありました。サン・カラットからは、松阪市で採卵鶏経営を営む山下鶏園の山下恵美子さんから「山下鶏園の食育活動」と題して、相可高校生徒との交流や地元小学校生徒たちの農場訪問のようすを発表していただきました。



午後の講演では、テレビ番組「キューピー3分間クッキング」の先生として活躍中の宮本和秀先生から「次世代につなげたいお袋の味」と題して、出汁の取り方などの実演を交えた講演がありました。



3)三重県畜産協会主催の講習・研修会への参加

- ・とき：平成 20 年 11 月 6 日（木）
- ・ところ：松阪市丹生寺町（山下鶏園、ウエストパーク松阪研修室）
- ・出席者数：総数 42 名（うちサン・カラット会員 14 名）



（社）三重県畜産協会では、消費者の皆さんなどに畜産への理解を深めていただくことや、これらを受け入れる畜産側もどのように対応していけばいいのかということ学ぶことを目的とした地域畜産ふれあい体験交流活性化事業を実施しています。

この事業の一環として、JA松阪女性部の皆さんとサン・カラット会員が交流の機会を持ちました。



現地研修として対応いただいたのは、松阪市で採卵鶏経営を営む山下鶏園でした。畜産仲間同士でも畜種が異なると不案内な部分もあり、参加者全員が興味をもって養鶏の現場を見ることができました。午後からは会場を変えて、スライドにより鶏舎内部のようすを紹介してもらったり、安全な鶏卵生産に取り組んでいる状況を聞かせてもらいました。



4)三重県養鶏協会主催の料理講習会への参加

- ・とき：平成 21 年 1 月 14 日（水）
- ・ところ：松阪市伊勢寺町（ウエストパーク松阪調理室）
- ・出席者数：総数 18 名（うちサン・カラット会員 15 名）



昨年度に引き続き、三重県養鶏協会が開催した「タマゴを使った料理講習会」にサン・カラット会員として参加させていただきました。

講師は、松阪市在住の管理栄養士宮本早苗先生にお願いしました。タマゴをたっぷりを使った 4 種類の料理を学び、参加者からは、簡単でおいしい料理ができたと好評でした。



参加者をお願いしたアンケートからは、「生産者」や「賞味期限」を基準にしてタマゴを買っているようすが伺えました。



5) 第 21 回農山漁村のつどいへの参加

・とき：平成 21 年 1 月 30 日（金）

・ところ：津市（三重県総合文化センター内「多目的ホール」）

・出席者数：総数 294 名（うちサン・カラット会員 6 名）

このつどいは、農山漁村の良さを活かした地域づくりや農林漁業を男女が協働していける新しい農山漁村社会のあり方を考え、確立していこうという目的で開催されたものです。

今回の開催では、サン・カラット代表世話人の小林さんが当日の司会進行を受け持ち、いなべ市の長崎房子さんが集いの締めくくりとして「農山漁村のつどい宣言」を



発表しました。

基調講演では、福岡県男女共同参画センターあすばる館長の中嶋玲子さんが「今こそ活かそう農山漁村に私の力を！」と題して、自分の経験をもとに、「嫁」の頃の苦労話と、農山漁村の発展のためには、正しい理解に基づいた男女共同参画が必要であるという熱い想いを語られました。

また、サン・カラットの総会で食育について講演をいただいた松阪市立天白小学校教諭の草分京子先生からは、この場でも同校で取り組む食育教育についてお話をいただきました。



3 会員間の情報交換、活動内容の広報等

1) 会員誌等の発行

サン・カラット通信第 5 号（平成 20 年 8 月）

- ・サン・カラット総会を開催
- ・研修会、茶話会を開催
- ・テーマは「ダイエット」
- ・全国畜産縦断いきいきネットワーク全国大会が開催されました
- ・新しい仲間が増えました
- ・全国大会に参加して（寄稿）
- ・猛暑の夏です
- ・夏を乗り切るお元気レシピ（鶏肉の辛子炒め）

サン・カラット通信第 6 号（平成 20 年 10 月）

- ・女性部交流会に参加
- ・女性部交流会で新会員
- ・新しい仲間から寄稿いただきました
- ・今年も牛乳キャンペーンを展開



- ・農山漁村のつどい実行委員会
- ・あったか旨いもん（レシピ：麻婆卵豆腐）
サン・カラット通信第7号（平成21年3月）
- ・男女、対等な社会を築こう！「第21回農山漁村のつどい」より
- ・JA松阪女性部との交流会
- ・タマゴを使った料理講習会に参加
- ・会員さん、あちらこちらで活躍
松阪牛共進会で優秀賞1席（松本しのぶさん）
ルポ「自販機でも心がける対面販売」（川北淳子さん）
畜産経営技術優良事例発表会で意見発表（片岡真依子さん）
- ・レシピ（豚バラ肉蒸し煮）

2) 事務局通信の発行

- 事務局通信(平成20年10月)
- ・サン・カラットの活動予定について
- ・映画「ブタがいた教室」
- ・年会費納入についてのお願い

3) ホームページからの情報発信

三重県畜産協会のホームページ「三重の畜産広場」内にサン・カラットのサイトを開設し、

会の紹介、会員募集情報、トピックスとして会の活動状況を広報しました。

（サン・カラット URL <http://mie.lin.go.jp/san/mn.htm>）



4) メールによる情報提供

メールアドレスを登録していただいているサン・カラット会員に向けて、事務局でキャッチした畜産に関するテレビ番組や、研修会、冊子の提供等について案内しました。

4 その他会の運営に必要な活動

1) 世話人会の開催

- ・とき：平成20年5月13日（火）
- ・ところ：津市（三重県桜橋会館）
- ・出席者：世話人等サン・カラット役員
- ・協議内容：平成19年度実績、平成20年度活動計画等

サン・カラットの活動やこれらと関係する全国畜産縦断いきいきネットワークの活動等についても会員に紹介し勧めていくこととしました。

なお、この会議は、畜産協会が実施する畜産関係団体調整機能強化事業の一環として開催しました。

5 平成 20 年度収支報告

三重の畜産女性の会サン・カラット

平成 20 年度収支計算書

(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

1) 収入の部

科 目	予算額	決算額	差異 -	備 考
1 会費	200,000	185,000	15,000	5,000 円 × 37 会員
2 寄付金	0	0	0	
3 特別事業費	20,000	0	20,000	
4 雑収入	100	453	353	預金利息
当期収入合計(A)	220,100	185,453	34,647	
前期繰越収支差額	267,562	267,562	0	
収入合計(B)	487,662	453,015	34,647	

2) 支出の部

科 目	予算額	決算額	差異 -	備 考
特別事業費	196,500	69,164	127,336	表外 1 参照
会議費	1,800	4,000	2,200	飲み物代
会場費	25,000	0	25,000	
旅費交通費	36,000	6,710	29,290	事務局延べ 6 回
通信運搬費	22,400	17,620	4,780	切手代 14,620 円、電話 FAX3,000 円
消耗品費	12,000	5,000	7,000	事務消耗品費 5,000 円
賃金	67,000	60,200	6,800	事務局 7 日分
事務諸経費	12,000	0	12,000	
雑費	5,000	0	5,000	
当期支出合計(C)	377,700	162,694	215,006	
当期収支差額 (A) - (C)	157,600	22,759	180,359	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	109,962	290,321	180,359	

1 特別事業費 (69,164 円) の内訳

会場借料 10,000 円 総会・研修会会場費 10,000 円
 会議費 10,950 円 総会茶話会茶菓子代 7,950 円、農山漁村のつどい弁当代 3,000 円
 負担金 45,064 円 J A 交流会 38,064 円、畜産協会交流会 7,000 円
 謝礼 3,150 円 講師謝礼 3,150 円

参照(畜産協会事業「畜産関係団体調整機能強化事業」からの支援)

交流会開催会場費 8,000 円、会議費 3,205 円等、会報等に要する切手代 15,110 円等、同事業費合計で 121,795 円の助成があった。

三重の畜産女性の会サン・カラット規約第 14 条により上記のとおりご報告します。



平成 21 年 5 月 12 日

会計担当世話人 長崎 房子

平成 21 年度事業計画（案）

平成 18 年 11 月にサン・カラットを発足し、4 年目を迎えることとなります。

昨年度の事業報告にもあるように、他の農業者との交流もさらに窓口を広げていくことができました。

サン・カラットの活動をマラソン競技に例えるならば、いつの間にか競技場のトラックを出て、本格的にコースを走り始めているといったところでしょうか。沿道からは、いろいろな声援も聞こえてくるような気がします。

これからの畜産状況も決して楽観していただけるような時代ではないと思いますが、サン・カラット活動を通じて会員相互の連携をさらに密にしながら、共に元気になり、三重の畜産が発展していくことを願っています。



1 畜産経営向上のための研修・視察、会員相互の交流等の活動

昨年度からは、サン・カラット会員同志に留まることなく、他の農林水産業で同じように女性の立場で活動している皆さんとの交流も体験しました。

また、同じ畜産ではあるもののその実態に不案内な他の畜種について研修することで新たな理解も生まれてきたように思います。

本年度、サン・カラットで独自に開催する研修なども企画していきますが、前年に引き続き、J A 三重中央会が核となって開催する「女性部交流会」や男女共同参画の流れをくむ「農山漁村のつどい」、畜産協会が事業として展開する研修などに積極的に参加し、見聞を広げていこうと思います。

また、全国に目をやれば、サン・カラットと同じ主旨で活動を続ける「全国畜産縦断いきいきネットワーク」の存在にも注目し、参加をお勧めしていこうと思います。

サン・カラット研修会

とき：平成 21 年 6 月 9 日（火）

ところ：湯の山温泉「寿亭」

内容：湯の山温泉女将の会「きらら」の活動について
漁協・酪農・畜産・J A 女性部交流会への参加

とき：平成 21 年 9 月 18 日（金）

ところ：松阪市高町 華王殿

「みんなのよい食 農家のお母さんお弁当コンテスト」(仮称)



行政担当者との意見交換会（仮称）

とき：平成 22 年 1 月（予定）

ところ：未定（県内）

内容：全国畜産縦断いきいきネットワーク主催の行政と生産者との意見交換会
第 22 回農山漁村のつどい
料理講習会
交流会

2 情報発信・情報交換による交流

サン・カラットの活動内容は、「会員誌」や「ホームページ」で情報を発信していきます。

毎回、会員が一堂に会し、活動していけることが理想だと思いますが、実際にはなかなか無理なことです。会の活動内容や会員の意見、考えなどを知っていただくためにも会員誌などを発行していきたいと思えます。

読んで楽しい、役に立つ内容を目指していきますので、情報発信に当たっては皆様のご協力もお願いします。

また、活動内容を広く広報することは、会員以外の方々にも会の存在を知ってもらい活動成果を見守っていただくことになると思えます。

1) 会員誌の発行

会員誌「サン・カラット通信」を年 4 回発行する予定です。

会の活動や会員の皆さんからの意見や想いを中心に、作成・発行します。

生の「声」を載せていく予定です。会員の皆様のご協力をお願いします。

2) ホームページによる情報発信

会の活動を会員以外にも知ってもらうことを目的に、インターネットホームページ「三重の畜産広場」の一角に「サン・カラット」のコーナーを設け、ここから情報発信を行っていきます。 URL <http://mie.lin.go.jp/san/mn.htm>

3) その他の情報提供

サン・カラット事務局通信の発行やファックスまたはメールにより、会員の皆さんに知っていただきたい情報を随時提供していきます。

（メール：事務局にメールアドレスを登録された会員に対してのみ発信します。登録はいつでもお受けいたします。）

4) 会員紹介誌の充実

会員相互の周知と交流のために、会員の自己紹介誌を作成していますが、引き続き加筆修正・新規作成に当たりますので事務局へご連絡をお願いします。



3 畜産物の消費拡大へ向けての活動

会員の中には従来から内容の充実した食育活動を展開してみえる方があり、深く感服するところです。

サン・カラットとしては、女性の視点で安全で安心のできる「食」を届けられるように普通の生産・販売活動に取り組んだり、料理研修などを通じて、消費者の皆さんの畜産物への理解を深めていきたいと思います。



4 その他会の運営に必要な活動

世話人会では、会員の意見に耳を傾け検討しながら、会員やサン・カラットを取り巻く皆さんからの支持をいただけるように、この活動が有意義なものとなるよう努力をしていきます。

三重の畜産女性の会

サン・カラットへのお誘い



三重の畜産を支える女性の皆さんが交流できるグループを作りたいと思います。一人ひとりの小さな力もたくさん集まれば、それはひとつの大きな力になるでしょう。なにか、新しい芽を皆で育ててみませんか。

- 1 会員相互の交流を深めましょう。情報の交換も積極的に！
- 2 経営向上のために研修の機会をもちましょう。
- 3 消費者の皆さんに畜産の理解を深めてもらいましょう。
- 4 将来の経営のためにいろいろな課題について語り合いましょう。
- 5 会員の意見による活動を進めましょう

・・・他にも取り組みたい活動イロイロ！

皆でまず一歩！これがスタートです。

三重県の畜産に携わる女性
または関心のある方なら
どなたでも参加できます！



5 平成 21 年度収支予算



三重の畜産女性の会サン・カラット 平成 21 年度収支予算 (案) (平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 3 月 31 日)

1) 収入の部

科目	予算額	前年度 予算額	差異 -	備考
会費	200,000	200,000	0	会費 5,000 円 × 40 名
寄付金	0	0	0	
特別事業費	20,000	20,000	0	参加費 1,000 円 × 20 人 × 1 回
雑収入	400	100	300	預金利息
当期収入合計(A)	220,400	220,100	300	
前期繰越収支差額	290,321	267,562	22,759	
収入合計(B)	510,721	487,662	23,059	

* サン・カラット会員の年会費は 5,000 円とする。納入は 7 月末日までをお願いします。

振込先 銀行名 三重県信用農業協同組合連合会本店
口座名義 三重の畜産女性の会
口座種別 普通預金 口座番号 0003584

2) 支出の部

科目	予算額	前年度 予算額	差異 -	備考
特別事業費	229,800	196,500	33,300	表下 1 参照
会議費	1,800	1,800	0	100 円 × 6 人 × 3 回
会場費	20,000	25,000	5,000	10,000 円 × 1 回、5,000 円 × 2 回
旅費交通費	52,000	36,000	16,000	3,000 円 × 4 回、5,000 円 × 4 人 × 2 回
通信運搬費	22,400	22,400	0	80 円 × 40 人 × 4 回、800 円 × 12 ヶ月
消耗品費	9,600	12,000	2,400	800 円 × 12 ヶ月
賃金	60,200	67,000	6,800	8,600 円 × 7 日
事務諸経費	9,600	12,000	2,400	800 円 × 12 ヶ月
雑費	5,000	5,000	0	その他雑費 5,000 円
当期支出合計(C)	410,400	377,700	32,700	
当期収支差額 (A)-(C)	190,000	157,600	32,400	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	100,321	109,962	9,641	

1 参照 (特別事業費)

会議費	113,000	2,000 円 × 20 人 × 1 回	謝金	5,000	5,000 円 × 1 回 (講師)
		3,000 円 × 20 人 × 1 回	賃借料	60,000	バス借上 1 回
		800 円 × 10 人 × 1 回	印刷製本費	6,000	2,000 円 × 3 回 (北 -)
		100 円 × 50 人 × 1 回	通信運搬費	12,800	80 円 × 40 人 × 4 回
会場費	10,000	10,000 円 × 1 回	負担金	10,000	10,000 円 × 1 回
旅費	3,000	3,000 円 × 1 回 (講師)	材料費	10,000	10,000 円 × 1 回 (食材)